

議会広報

かみいち

2022

30号

令和4年1月14日



12月定例会等の要点 P2

採決一覧 P3

委員会報告 P4

一般質問(議長を除く全11名)..... P5~15

町民の声 P16

(写真)

「白西いきいき談義」で地域ふれあい交流を
楽しむ白萩西部小学校の子ども達

(11月17日)

発行 / 上市町議会
編集 / 議会広報特別委員会



11月臨時会・12月定例会の審議の要点

11月臨時会

- 一般会計 8764万円を増額
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業費を確保
 - ・職員期末手当を引き下げ(-0.15月)

12月定例会

- 一般会計 5億6323万円を増額し
総額110億8429万円に
- ・感染症対策と子育て世帯臨時特例給付金事業等を万全に

11月臨時会は、11月29日(月)に開かれ、一般会計・下水道事業特別会計・後期高齢者医療事業特別会計・国民健康保険事業特別会計・水道事業会計・病院事業会計の補正予算6件と給与に関する条例改正1件、合計7件の議案について審議を行いすべて原案通りに可決しました。

12月定例会は、12月7日(火)から16日(木)までの10日間にわたって開かれ、一般会計・国民健康保険事業特別会計・病院事業会計の補正予算3件、条例の一部改正3件に加え、追加議案の一般会計補正予算・副町長選任・固定資産評価審査委員会委員選任の3件合わせて計9件の議案について審議を行いすべて原案通りに可決・同意しました。また請願1件は不採択となりました。

本定例会では議長を除く11名全員の議員が町政一般に対する質問（一般質問）を行いました。

【12月補正予算による主な事業】

- ・住民税非課税世帯等臨時特例給付金事業費 **2億4520万円**
(住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円を支給)
- ・子育て世帯臨時特例給付金事業費 **1億4256万円**
(18歳以下の児童に1人当たり10万円を支給)
- ・感染症対策費 **1億310万円**
(新型コロナウイルスワクチン3回目接種)
- ・小学校情報教育推進費 **1740万円**
(電子黒板等購入費)
- ・小学校管理費 **1041万円**
(感染症対策消耗品費、体温測定カメラ購入費、各種修繕費 等)

【主な条例改正その他】

- ・職員定数条例一部改正 (病院職員:230人→235人)
- ・上市町副町長に小竹敏弘氏を再任
- ・固定資産評価審査委員会委員に佐伯宗茂氏を再任

議案採決一覧

○賛成 ×反対 □欠席

	議案	議長	議員											採決結果			
		堀田喜久男	百塚 怜	廣田 透	椎名 寛子	宮波 紀子	酒井 一好	廣田 泰三	松本 寛	寺西 庄司	松谷 英真	碓井 憲夫	酒井 桂之				
11月 定例会	第71号	令和3年度上市町一般会計補正予算（第4号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第72号	令和3年度上市町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第73号	令和3年度上市町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第74号	令和3年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第75号	令和3年度上市町水道事業会計補正予算（第1号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第76号	令和3年度上市町病院事業会計補正予算（第3号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第77号	上市町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12月 定例会	第78号	令和3年度上市町一般会計補正予算（第5号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第79号	令和3年度上市町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第80号	令和3年度上市町病院事業会計補正予算（第4号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第81号	上市町職員定数条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第82号	上市町国民健康保険条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第83号	上市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第84号	令和3年度上市町一般会計補正予算（第6号）	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第85号	上市町副町長選任に関し同意を得るの件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第86号	上市町固定資産評価審査委員会委員選任に関し同意を得るの件	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
請願第4号	米軍機の低空飛行訓練に抗議し、中止を求める意見書採択請願	-	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択	

会議出欠表

○出席 □欠席 △遅刻・早退

日付	会議の内容等	堀田喜久男	百塚 怜	廣田 透	椎名 寛子	宮波 紀子	酒井 一好	廣田 泰三	松本 寛	寺西 庄司	松谷 英真	碓井 憲夫	酒井 桂之
11月29日	全員協議会、本会議（11月臨時会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 7日	本会議、全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13日	本会議（一般質問）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14日	総務教育常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	-	○
15日	産業厚生常任委員会	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-
16日	全員協議会、本会議（委員長報告・討論・採決）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議長就任ご挨拶

堀田 喜久男

明けましておめでとございます。
町民の皆様には、ご家族共々健やかに新年を迎えられました事とお慶び申し上げます。

昨年10月の町議会議員選挙により、新人議員6名を含む新たな12名体制が開始しました。直後の組織議会において議長に推挙頂き、改めてその重責を痛感しているところでもあります。町民の皆様には、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ収束をみない状況ですが、ワクチン接種の協力も頂き、今は少し落ち着いている状況にあります。まずはコロナ対策を最優先課題と位置づけ、一日も早い収束に向けて取り組んで参ります。また、潜在的に山積した町の課題にもしつかりと取り組んで行かねばなりません。

かみいち総合病院の存続問題、加速する少子高齢化と共に浮上してきた学校のあり方検討、出生数増加対策や子育て支援、まちなかの活性化、持続可能な農業の構築、上市スマートICを活用した町づくりや企業誘致、災害の少ない安全で安心な町づくりなど様々な課題があります。

このような課題に対して、議員一人ひとりの資質の向上と、町民の皆様からの小さな声にも耳を傾け、満足度の向上を図りながら、開かれた議会、信頼される議会を目指して参りたいと思います。

町民の皆様には、これまで以上に議会活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

委員会報告

総務教育 常任委員会

総務課

Q 町職員の増員予定は。

A 段階的に定年の年齢が引き上げられ最終的に65歳になる。採用は、毎年平準化して行うので、おのずと増員になる。

企画課

Q 地域おこし協力隊事業の現況は。

A 令和3年10月に神奈川県在住者から応募があり、採用内定した。活動は、令和4年4月1日から。

Q Deai Barの趣旨は。

A 男女のマッチングがメインではなく、同じ趣味の仲間を広げようというもの。

産業課

Q 上市駅開設90周年記念動画の反響は。

A ユーチューブの再生回数が1番多いもので、3万回を超えた。また、皆さんからありがたいコメントもいただいた。

教育委員会

Q 奨学資金の利用状況は。

A 令和3年度は、給付23名、貸与12名。

Q 学校図書館司書の配置状況は。

A 教育センターに2名配置し、小学校6校と中学校を回っている。

Q 修学旅行の実施は。

A 令和2年度、3年度は、コロナのため、県外を中止し、県内で日帰りの思い出作りをした。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。請願第4号については、反対多数により不採択。所管事務事項の継続審査は了承。

産業厚生 常任委員会

Q 職員定数増の改正事由は。

A 医師等の医療従事者を確保し、医療体制強化を図るため。

Q 病院機能評価を受ける効果は。

A 病院の現状と問題を明確にすることにより、医療の質の向上につながる。

町民課

Q マイナンバーカードの交付率は。

A 令和3年11月末現在41・39%（県下で第7位）

産業課

Q 実証実験「箱縄監視システム」の結果は。

A イノシシ11頭（黒川で5頭、松原野で6頭）を捕獲した。

Q 「つるぎの味噌」の現状は。

A 令和2年に比べ客が増加し、増収になっている。

建設課

Q スマートインター駐車場のトイレ及び待合室の工事の進捗状況は。

A 令和3年12月14日現在で進捗率が25%。年度末完成に向け、順調に進んでいる。

【審議の結果】

委員会所管の議案を全会一致で可決した。所管事務事項の継続審査の件は了承。



空き地・除草の相談窓口 新しい文化財 釈泉寺円筒分水槽

寺西庄司 議員

空き地除草

議員 空き地の除草の
お願いで、地区内でト
ラブルになるのを避け
たい。当局で空き地の
相談窓口を開設できな
いか。

町民課長 空き地の除
草に関する相談は、そ
の場所が宅地の場合は
町民課、農地の場合は
農業委員会に対応し、
できる限り相談内容に
お応えできるように努
めている。今年度は、
6地区から相談を受け
ており、電話で所有者
に除草をお願いし、未
応答の場合は、書面で
繰り返し要請する等の
対応を行っている。
議員 火災防止の観点
から啓蒙活動をできな
いか。
町民課長 気象状況等
に応じて野火が発生し
ないよう消防から注意

喚起しているが、今後
は適切な時期に広報か
みいち等で注意喚起す
る。

議員 適正管理の周知
をできないか。

町民課長 火災防止と
同様に広報かみいち等
で行う。

円筒分水槽

議員 上市川左岸の釈
泉寺地内に位置する釈
泉寺円筒分水槽が、歴
史的文化遺産として価
値が認められ、文化審
議会において国登録有
形文化財として答申さ
れると同時に、新聞紙
上等で報道された。今
後、現地を訪れる人が
増えると予想される
が、目的地までの経路
が分かりにくく、途中、
枯れ葉の堆積により汚
泥化している道路箇所
もある。案内看板の設

置や進入道路の整備等
をできないか。

産業課長 新聞報道後
町や観光協会に場所に
関する問い合わせが、
十数件寄せられた。

現在の案内看板は1基
のみで、同看板から目
的地に向かうには、上
市川左岸の県管理道を通
るルート以外にな
く、一般未舗装部分が
存在するほか、道幅も
狭く自動車同士がすれ
違えない等の課題もあ
る。

経路案内や注意喚起
を図る簡易的な野立看
板設置、舗装、駐車場
の確保等を課題とし、
今後、道路管理者であ
る県立山土木事務所
や、発電所を管理する
県企業局と協議する。
町の新たな文化財とな
る釈泉寺円筒分水槽を
所有者である上市川沿
岸土地改良区や地元白

萩地区と連携し、観光
名所として活用した
い。



釈泉寺円筒分水槽

一般質問

中川町長の今後4年間の町政運営



松谷英真 議員

中川町長の今後4年間の町政運営について問う

議員 かみいち総合病院を守る方策について。

町長 病院の存続のために外科医師の確保に努め、寄附講座の開設により乳がん先端治療と乳房再建サテライトの開設をした。泌尿器科医師の確保に努力する。

議員 子育て支援策の重点計画について。

町長 子育て支援は最重要課題だ。女性による子育て環境検討プロジェクトを立ち上げ意見や要望を聞いた。新年度予算では、妊娠から育児までの事業を再点検し予算編成を行う。新規住宅助成についても町内・町外の方を問わず助成金額を拡充する。

議員 災害に強いまちづくり計画について。

町長 国や県に対し治山、砂防、河川の改修事業の継続的な実施と、河川の堆積物や草木等の除去をお願いしている。町では、基幹道路の改修や橋梁の長寿命化を計画的に進める。「災害は必ずやってくる」をあらためて認識していただきたい。

議員 農業組織の規模拡大への支援策について。

町長 現状の農業集積化は避けて通れない状況にある。現在行われている基盤整備地区においては50%が高収益作物への転換が必要であり、大型機械の導入への支援を現行以上に手厚く行う。

議員 小学校の再編と中央小学校の改築計画について。

町長 現状の出生数においては、小学校の再編はやむなしと思う。中央小学校の改築と共に、町政2期目のうちに必ず道筋をつける決意でいる。

再質問

議員 農業の組織化と基盤整備事業への旗振り役をお願いする。

町長 今までは兼業であるから農地は守られてきた。これからは田んぼを手放そうとする



令和3年春の田植え風景

方が増えてくる。営農組合を立ち上げて集約化をはかる以外に手立ではないと考える。と

なれば、国・県の補助制度を有効に活用して地元負担はあるが、計画的に対応していく。



築60年以上経つ上市中央小学校舎

避難情報が変更されたので確認を



松本 寛 議員

要支援者の人数や分布

議員 令和3年5月から災害時の警戒レベルに応じた避難情報が変更された。

高齢者や障がい者などの要支援者の人数や分布を町はしっかりと把握できているか。

福祉課長 災害が発生した場合等に自分で避難することが困難な方の円滑で迅速な避難を行うため、災害対策基本法に基づき、特に支援を要する方を避難行動要支援者名簿に載せている。毎年4月1日現在の情報に更新したうえで名簿を作成し、把握に努めている。

要支援者の個人情報

議員 災害時にご近所同士で支援し合うような場合に、区長は、ど

のように、どこまで、

どういったタイミングで要支援者の個人情報を得ることができるのか。

福祉課長 要支援者の情報は、個人情報への配慮により提供を見合わせているが、今後は個人情報を適切に取り扱ってもらおうよう丁寧にお願したうえで、要支援者本人の同意が得られている方のみ、情報を提供したい。

避難所への懸念事項

議員 避難指示で避難所に人が集まり手狭になる可能性が高くなると思われる。災害時に少しでも安心して行動するために、何かできることはないか。

総務課長 避難指示の発令において、被災の恐れが見込まれる、必ず立退き避難をすべ

き居住者等に対してのみ、立退きを指示することができるよう規定を見直した。上階への移動や高層階に留まること等により屋内での安全を確保できると判断される居住者等に

対しては、必ずしも立退き避難を求めないことが可能とされた。また、立退き避難先として、市町村指定の避難場所だけではなく、安全な親戚・知人宅やホテル・旅館への避難な

ど、様々な避難行動が推奨されている。

「自らの命は自らが守る」意識をもち、適切な避難行動を心掛けていただくようお願いしたい。



避難指示が出た場合の行動（全戸配布資料より引用）

一般質問

学校再編問題のゆくえ 商店街の活性化策



廣田 透 議員

学校再編問題

議員 現在上市町は少子化が進み子どももの出生数は年間70名弱である。

小学校の再編が取りざたされているが、移住者の獲得の面から上市町の魅力を考えれば、街中の小学校だけが選択肢になるのではなく、自然と共生できる環境で子どもを学ばせる事に魅力を感じる移住希望者がいるのではないか。

また、はじめの問題など少ない学級数での弊害も考えられ、選択して街中から郊外の学校へ通学できる環境も必要ではないかと考えられる。

現在の上市町の方針はどうか。

町長 小学校再編・統廃合については色々な考え方、意見があるものと思う。

しかしながら現状の出生数を見ると、再編・統合はやむなしと考えられ、理解を求めたいと思う。どのような形で再編・統廃合を行うかに関しては、町民の皆様と一緒に議論をしていく必要があると考えている。

白萩西部小学校と陽南小学校は小規模特認校として町内どの校区からでも通学が可能だが、校区外の通学は極めて少ない状況である。

今後、年度内に始める校区ごとの公聴会において、様々な意見に直に地域の皆様からお聞きし、町の方針をしっかりと時間をかけて固めていきたい。

商店街の活性化

議員 空き店舗の居住空間と店舗空間を分離し、お互いが気を遣うことなく利用することで新規の入店者を増やせないか。

産業課長 商店街の店舗が閉店後に新しい店舗に生まれ変わらず、結果として空き店舗となる要因の一つに既存店舗が住居と兼ねていることが挙げられる。

町では空き店舗の活用や創業を考える事業者に100万円を上限に対象経費の3分の1を助成している。

水回りの新設など大掛かりな工事では自己負担が多額になると思われる場合、空き店舗の活用を促進するために補助率や限度額を引き上げることも検討していく。

議員 水回りの設備が必要な場合、町内の業者に依頼する事による地域活性化に結びつかないか。

産業課長 ゲストハウス松月やアルティネットのサテライトオフィスは町内の業者が改修

を手掛けている。空き家再生に取り組み町内の若手業者の集まりも存在していることから、できる限り町内業者に改修をしてもらうよう働きかけを行い、町内での資本の循環を促進していく。



現在の西中町商店街



不妊治療の助成充実を 町でのスマホ教室開催を

酒井一好 議員

不妊治療の取り組み

議員 令和4年4月からの保険適用後も不妊治療費の助成継続をお願いしたい。

福祉課長 来年度以降も現行の助成を継続したいと考えている。

議員 治療に取り組まれる夫婦の増加による助成費準備は大丈夫か。

福祉課長 精一杯予算確保に努める。

議員 助成拡充の予定はあるか。

福祉課長 当町は県や他自治体が助成対象としていない保険診療分も既に助成対象としており現段階でも他市町村に比べ充実しており拡充の予定はない。

今後、不妊治療費助成に関する国や県の動向に留意するとともに



概要版の表紙

に、広報等にて町の助成制度について広く周知して参りたい。

「第8次上市町総合計画」の子ども版

議員 小学生が上市町に希望と愛着が湧くような子ども向け版が作成出来ないか。

企画課長 概要版として作成した冊子は多くのページに「おおかみこどもの雨と雪」のイラストを使用しているほか、内容も明瞭簡潔に記載しており、幅広い世代に受け入れやす

いものとなつている。一人でも多くの子どもたちが総合計画の目的や内容を理解し故郷への愛着を深めるとともに自分の夢や理想に向かって努力してほしい。

誰一人取り残さないデジタル化

議員 デジタル弱者向けのスマホ教室を開催出来ないか。

企画課長 内閣府の世論調査では、70歳以上の方でスマホ等を利用しない理由の4割が

「使い方がわからない」と回答され、「スマホ教室」等の情報リテラシー向上のための方策の必要性が窺える。

現在、町社会福祉協議会が株式会社TAM

に「おたつしや家」利用者の講習会を依頼中であり、結果を見てさらに対象を広げて開催できないか、町社会福祉協議会と協議したい。



スマートフォン、タブレット、ノートパソコン

一般質問

地方と農業の創生は社会の要請



碓井憲夫 議員

可能性にチャレンジする覚悟と力

議員 劔岳が望める上市町に住まいを求め移住される若者が一人、二人と続いている。更なる移住者を増やすには、町が持っている可能性にチャレンジする覚悟と力が求められる。

移住者の増大と地域力の向上、地場産業・農業の再生は一体だ。農業の再生を求める若者を都会から呼びよせるための体制づくりが必要。力をあわせればできる。

都会から若者を地方に移住・定住を促進するため、国、県から各種交付金があり、新たに農業を始めようとする若者への様々な支援もある。

地方と農業の創生は

社会の要請だ。

農業を学び就業を目指す青年を都会から呼び込む体制づくり。

仮称「農業学舎」の設立を提案する。具体的には、

・ 農業体験（賃雇いを含む）をしながら学んでいただき、3年後には就農（雇用、自立）をめざしていただく

・ 住居と生活費、農地のお世話を行う

・ 財源は国の地方創生交付金、新規就農者支援制度等を利用する

・ 構成は町、農家等他

町長 当町では、近年、県内外から農業を

始めたいという問い合わせが増えており、富山農林振興センターやJ Aアルプス、農家の方々と連携を図りながら、新規就農に係る支援を行っており、現在、新規就農者5名のうち

転入された方は2名となっている。

これまで課題としていた新規就農希望者への住居あつせんについては、農地付きの空き家を購入できるような仕組みを早急に検討したいと考えている。これによって農地を持たない新規就農希望者が、すぐに農業にチャレンジできるようになるはず。

また、自立できるまで面倒を見てもよいと

いう農家がいらつしやれば、県外の方には地域おこし協力隊の制度を活用する方法もあり引き続き関係機関と連携し、新規就農者が地域に溶け込んで新たな担い手として活躍できるように応援する。

議員 前豊岡市長のお話を聞く機会があった。コウノトリ野生復帰事業推進の兵庫県豊岡市。一帯は有機栽培。コウノトリのお米は

関西、海外等で60キロ

12万円で売れているようだ。

令和3年4月に公立の大学が豊岡市に立ち上がった。芸術文化観光専門職大学。一学年200名の定員に対して1900名を超える応募があったようだ。それぞれの地域の実状にあう方向とやる気があれば夢と思われれることも可能なことを表している。

Ⅱ 農業をやりたい方

お世話しますⅡ ホームページで全国に発信し、同時にお世話の体制を確立していただきたい。



コウノトリが息息する農村（豊岡市）



令和4年度のプロジェクト事業は ポストコロナを見据えて

酒井 桂之 議員

**令和4年度の予算
編成は**

**議員 企業誘致と人口
減対策をどう推進して
いくのか。**

町長 人口減対策は、子育て支援や移住定住、健康寿命の延伸や働く場の確保には、企業誘致などの施策に取り組むしかない。大坪地域工業団地造成事業は、基本設計や用地買収が進めば令和7年に工事が終了する。宮川

地域工業用地は今年度中に売り出しをかける予定。サテライトオフィスは令和4年1月に富山信用金庫上市営業部の4階に完成する。
議員 主なプロジェクト事業をどう考えているのか。

町長 大坪地域工業団地のアクセス道路として大坪南線の工事着

手、かみいち総合病院の電子カルテシステム等の総合情報システム更新、消防ポンプ自動車更新、地方への移住希望者への体験ツアーの実施、サテライトオフィス利用促進のためのマッチング機会創出などを考えており、ポストコロナ・アフターコロナを見据えた施策を展開する。

まちづくり対策は

議員 家族で楽しめる飲食店と居酒屋の誘致をどう進めていくのか。

産業課長 チェーン店の飲食店は人口や交通量などを分析し、収益が見込まれる場合に限り出店すると聞いており、残念ながら出店の可能性は低い。新たに飲食店の開店を希望される事業者には、空き

店舗活用や創業支援をするとともに、町内の飲食店を応援していく。

議員 高齢者や歩行困難者の新しい送迎サービスを考えられないか。

福祉課長 地域の方が有償ボランティアで送

迎を行う自治体があることを承知している。当町でもコミュニティバスが運行していない地域でチャレンジしたいという話があれば、前向きに対応したい。

議員 大雪の除雪対策にどう取り組むのか。
建設課長 除雪機械を

5台増台する。県と除雪の分担を協議し、連携した除雪を実施する。共同で利用する臨時雪捨て場に丸山総合公園駐車場を指定し、大雪への備えを進める。日中除雪を実施するなど臨機応変に対応する。



雪捨て場の様子

一般質問

病院職員の負担を軽減せよ 子ども医療費助成対象を拡大せよ



百塚 怜 議員

かみいち総合病院
職員の負担を軽減
せよ

議員 「がんばるかみいち総合病院応援基金」

の約3000万の寄附金残高を活用して人員を確保すべきだと考えるが、基金の今後の活用予定を示せ。

財務課長 当該基金は病院を守り、育てることを目的としている。

そのため、(臨時的な人員確保等ではなく)院内で働く医療従事者を未永く応援していくための事業に活用したい。

議員 コロナ禍で増加した病院職員の業務負担を軽減せよ。

病院事務局長 人員不足については会計年度任用職員を採用している。労務管理としては各部課での業務改善、

勤怠管理システムでの長時間労働の把握、ストレスチェック、産業医との面接を勧奨するなどしている。

子ども医療費の助成対象年齢を拡大せよ

議員 県の子ども医療費助成対象年齢拡大に伴い、町の負担が軽減される。町独自で医療費助成対象年齢を18歳まで引き上げる意向はあるか。

福祉課長 県の子ども医療費助成事業は、補助対象を0〜3歳までの通院費および0〜6歳までの入院費に限定し、所得制限や自己負担分も設定した上で、必要額の2分の1を補助する内容となっている。

県は子ども医療費助

成対象年齢を拡大したが、令和4年度の県補助金額を試算したところ、約630万円(うち約300万円が増額見込み分)であった。それに対して、

上市町の負担額は約2690万円。県からの補助は全体の1割程度である。そのため、町独自に子ども医療費助成対象年齢拡大を行うのは困難。しかし、

県の補助金増額によって軽減した町の予算分は、(医療費助成とは別に)さらなる子育て支援事業の実施や既存事業の拡充等、有効に活用していきたい。

議員 他市町村長と連携し、県や国へ助成対象年齢拡大を求めよ。

福祉課長 令和3年10月に開催されたワンチーム富山連携推進本部

会議の子ども医療費助

成制度検討会において、県に対し、15歳までの助成拡充と、国の

制度として無償化を実施するよう、強く要望している。



地域を守るかみいち総合病院



除雪体制 イノシシ対策を全町を挙げて

當波 紀子 議員

除雪体制を考える

議員 小学生が通学する時間帯までに通学路の除雪ができないか。

建設課長 除雪の手順はまず車道、次に歩道となる。除雪オペレーターや除雪機械に限りがあり、努力はしているが遅れが生じている。除雪委託業者と協議し改善に努める。除雪機械を貸し出して地元有志に歩道の除雪をしてもらう事を検討する。

カーボンニュートラルに対応

議員 カーボンニュートラルに対する施策は。

町民課長 平成29年度に策定した上市町環境基本計画の中にその対策を位置づけている。公共施設の屋上に太陽

光パネルを設置。遮熱高断熱複合ガラスの設置や空調機の改修工事、公用車のEV車導入など自然環境に配慮した施設の整備を進めた。また地域の防犯灯のLED化補助や若年世帯住宅への太陽光発電システム設置補助など様々な取り組みを行っている。町民の皆さまにもごみの減量化や食品ロスの削減、省エネ家電の導入など身近な改善に取り組んで頂くことが不可欠。今後さらに、町民あがての具体的なアクションを起こしていけないか検討する。

議員 町内の河川・用水利用の小水力発電所の可能性は。

企画課長 小水力発電は魅力的な再生可能エネルギーと捉えている。しかし年間を通じた安定的な水量と落差が必要であり農繁期と農閑期で水量が大きく変わることに加え、落差があまり大きくない当町の農業用水での小水力発電は現時点では難しいと考える。しかし技術は日進月歩しており、今後状況が変わり農業用水の所有者等が導入に意欲を示すなら、町として支援・協力をする。

イノシシ対策

議員 小規模農地のイノシシ被害を軽減する取り組みを。町全体で危機意識を共有して欲しい。

産業課長 町では令和元年度に鳥獣被害防止計画を作成し、イノシシを人里に近づけさせない、住処とさせない、農地への侵入を防

ぐ、加害イノシシの数を減らす等の取り組みを進めている。地域全体を侵入防止柵で囲み、住民による定期的な点検及び破損個所などの補修をすることで小規模農地の被害防止

に繋がると考える。近い将来市街地への出没も懸念されるため、イノシシに関する正しい知識やとるべき行動・対策を広く町全体に周知するよう努める。



イノシシの捕獲

一般質問

少子化対策のさらなる推進を



廣田 泰三 議員

少子化対策の結婚・子育て支援

議員 婚活、結婚の支援事業の状況は。

福祉課長 結婚相談所事業は、社会福祉協議会に委託している。

令和2年度は紹介件数97件、お見合い21件、成婚数8件と一定の成果を挙げている。

婚活イベントではマッチングは一定数成立しているが成婚までの追跡調査が難しい状況にある。今後はマッチング以降の結婚までのサポート体制も検討していきたい。

さらに町では、新婚夫婦の新生活にあたり、住居費や引越し費用の一部を助成する結婚新生活支援補助金交付事業を実施している。

若者交流事業や移住

定住施策とも連携し、若い世代が希望する結婚を叶えられるよう引き続き支援に努める。

議員 安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりと子育て世帯に対する支援事業は。

福祉課長 令和3年4月から上市町子育て世帯包括支援センターを福祉課内に設置し、妊娠・出産・子育てに関する相談に対応している。

健診などの母子保健事業と保育所などの子育て支援事業を一体的に提供できるよう情報共有や医療機関との調整を図っている。

令和3年度から保育料は第2子が単独入所でも半額に軽減し、小中学校の給食費を第3子以降は全額助成することとした。乳児おむつ購入助成事業も実施している。

令和4年度には、専任の職員を配置し子ども家庭総合支援拠点を設置する予定である。

11月の子育て環境検討プロジェクト会議での意見や要望を踏まえ子育て支援制度の拡充に努め、より一層子育て世帯のニーズに即した支援事業を推進していきたい。

子育て世帯をしつかり支え、子どもを安心して産み育てられ、子どもたちが未来に希望を持ち健やかに暮らせるよう環境の整備に努めていく。

議員 出合いの場、実際のきっかけづくり事業の今年度の実績と今後の展開。

企画課長 共通の趣味を持つ人との出合いの場を提供する「かみいちDeai Bar」事業は今年度6回開催

することになる。初回はコロナウイルス感染症の緊急事態宣言によりゲストが急遽オンラインでの参加となった

が、2回目以降は順調に開催しゲストトークで打ち解けた参加者同士が楽しい雰囲気の中で交流されていた。また、若者交流イベントでは初回をワークショップ形式で開催したところ15名の参加があったが、実際へ発展させる効果を高めたいと考え、男女のマッチングを図るイベントへと方向修正したところ10日に眼目山立山寺で開催した「さつかけ探検隊」では、20名から2組のカップルが成立

し、同月24日に大岩山日石寺で開催した「おいわ満喫隊」では、参加者22名から5組のカップルが成立するな

どマッチング効果に手ごたえを感じている。

今後も若者が興味、関心を持つテーマで出合いの場を提供していくとともに、カップルとなった若者をさらにフォローするイベントの開催を検討していく。

議員 出生数が激減していることは大きな問題である。子どもが増えるようにしていかなくてはならない。町に子育て世代に住んでもらうには魅力的な住みたくなる町にしていかなければならない。



Deai Bar 料理づくりで交流



学校に行けない児童生徒への支援 ジビエの可能性

椎名 寛子 議員

不登校児童生徒への支援

議員 学校に行くことが困難な子どもたちに対する町としての取り組みと支援体制は充分か。

教育長 不登校児童生徒に対し学級担任を中心に家庭訪問や電話連絡を定期的に行っている。スクールカウンセラーやソーシャルワーカーとの面談等、関係機関と連携し支援に努



適応指導教室 「虹」

めている。適応指導教室や校内の相談室にて職員が不安や悩みを抱える児童生徒に寄り添い、個別学習に取り組ませている。そこを居場所とする児童生徒が互いに関わり合う時間を設定するなど、教室や学級への復帰を目指し、一人ひとりに応じた支援を進めている。

今後、適応指導教室や校内の相談室での学習支援、家庭での個別学習支援を充実できないかオンライン学習の活用も視野にいれ検討する。また、上市町子育て環境検討プロジェクト会議にて、不登校の児童生徒を抱える保護者の相談・支援体制の充実に関する要望を聴いたため、早速、年度内に相談・支援の場を整えたいと考えている。

ジビエの可能性

議員 農林水産省もジビエの普及を押し進めていく方針だが、上市町にあるイノシシ等の解体・販売できる業者との連携はできないか。

産業課長 牛や豚等の家畜の食肉とちがい、イノシシ等の野生獣肉は、捕獲段階や処理過程での衛生管理が重要であり、ジビエ利用普及のため平成24年3月に県のガイドラインが策定された。このガイドラインに従いイノシシのジビエ利用が徐々に広まったが、令和元年7月に県内で野生イノシシの豚熱感染が確認されて以降、県内ほぼ全域が豚熱感染確認区域となり、この区域で捕獲されたイノシシの肉は、感染の有無

に関わらず、出荷停止となった。令和3年4月、国内において「豚熱感染確認区域におけるジビエ利用の手引き」が制定され、血液PCR検査で豚熱の陰性が確認されたイノシシ肉は、出荷可能となった。大半が埋設処理の中、ガイドラインを遵守し、ジビエ利用に協力できる捕獲者の確保や個体を収納する保管庫の整備など課題がある。町の事業者がジビエ利用の再開に前向きであると聞いたため、ジビエ製品を取り扱うことができるよう、町としてできる限りの支援を行いたい。

町民の声 紹介



放士ヶ瀬
瀬川信子さん

● **議会に期待することは**
議員の皆様には、日ごろから、学びを深め、自己の研鑽を積み、地域住民に寄り添い、謙虚に誠実に、地域住民と共に人づくり・絆づくり・地域づくりに努めてほしいと思います。

● **議会に期待することは**
約25年前、結婚を機に愛知県から上市町に来て、立山連峰の雄大さに感動しました。特に、剣岳の素晴らしい眺望は、疲れた心を癒し、色々な思いを受け止めてくれます。そんな良い環境で暮らすことに、感謝しています。
自分にできることで地域に貢献したいと考え、男女共同参画推進員などを務めさせていただいています。



旭 町
平野正浩さん

● **議会に期待することは**
就職してからは、マリンスポーツに親しみ、ジェットスキーにかなりハマっていました。現在は忙しくて乗っていませんが、上市に海があれば乗り続けていたかも・・・。
両親ともに要介護となり、毎日が本当に大変です。お世話になっている方々に感謝の思いでいっぱいです。
毎日忙しい中でも運動したいと思いますが、夜間のジムやプール等が上市町にあればいいなと思っています。

● **議会に期待することは**
議員の方々には、もっと地域に入って欲しいと思います。
こちらからも気軽に声をかけていきます。上市町の明るい未来と一緒に築きたいですね。

議会傍聴しませんか。

日程は、町広報とホームページで確認願います。

お知らせ

● 会議録の閲覧

インターネット上で本会議の会議録の検索や閲覧ができます。(定例会終了後約2カ月後に更新されます。)

● アドレスはこちら

町ホームページ「議会議録検索」または、
<http://www.town.kamiichi.toyama.dsr.jp/>

議会広報特別委員会

委員長	松本 寛
副委員長	酒井 一好
委員	百塚 怜
	廣田 透
	椎名 寛子
	當波 紀子
	廣田 泰三
	堀田喜久男



編集後記

昨年の選挙を経て、上市町議会の顔ぶれに変化がありました。合わせて議会広報特別委員会のメンバーも心機一転いたしました。委員長にはわたくし松本寛が着任し、今期より議員となった新人6名全員が委員となりました。わたくし自身を含め、至らぬ所が多々あるかもしれませんが、ただ、新人と言ってもそれぞれが今までに歩んできた社会経験、人生経験の深みがあります。互いの長所を活かし、今までにない視点で誌面作りに反映できるように、また引き続き町民の皆様の声を町政へ届けます。私も委員長として粉骨砕身働いていく所存です。

(松本 寛)

連絡先 上市町議会

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺 1 ☎076-472-1111 FAX076-472-1115 ホームページ<http://www.town.kamiichi.toyama.jp/>